

2023年度事業報告書

(一社) 全日本テコンドー協会

I 当協会の組織

1. 役員及び正会員（法人法上の社員）

(1) 正会員及び正・準加盟団体（2024年3月31日時点）

①正加盟団体及び正会員

1	宮城県	推薦なし
2	山形県	菅原 章由
3	茨城県	小林 守
4	栃木県	吉田 寛
5	埼玉県	鳥越 恒一
6	千葉県	金 容星
7	東京都	友野 寿美
8	神奈川県	姜 炫淳
9	山梨県	小泉 秀一
10	長野県	金原 貴将
11	岐阜県	福富 秀幸
12	愛知県	山田 啓悟
13	京都府	川端 徳久
14	大阪府	吉田 成
15	奈良県	阪口 朗
16	兵庫県	門野 真
17	香川県	中谷 信彦
18	福岡県	朴 龍基
19	佐賀県	牟田 靖文
20	長崎県	瀬尾 健一
21	熊本県	西村 紀幸
22	大分県	長野 修士

②準加盟団体

北海道協会
岩手県協会
新潟県協会
石川県協会
滋賀県協会
三重県協会

(2) 理事・監事

1	会長	川原 貴
2	副会長	田邊 陽子
3	専務理事	岸 郁子
4	常務理事	須永 功
5	常務理事	山本 衛
6	常務理事	長野 修士
7	理事	栳沢 保男
8	理事	片上 千恵
9	理事	藤原 清香
10	理事	山田 啓悟
11	理事	鳥越 恒一
12	理事	吉田 成
13	監事	戸谷 由布子

2. 専門委員会 2024年3月末日時点でHP掲載のとおり

3. 会員及び加盟団体

(1) 会員の状況

個人会員 1779名（2024年3月末日現在）（昨年度1811名）

審判登録 69名（同上）（昨年度69名）

(2) 加盟団体・準加盟団体

加盟団体 22団体

準加盟団体 6団体

（1.（1）のとおり）

II 正会員総会・理事会の開催状況

1. 正会員総会

(1) 2023年4月8日

第1号議案 正会員の承認について

(2) 2023年6月24日

第1号議案 2022年度事業報告及び決算について

第2号議案 理事及び監事の選任について

第3号議案 正会員の選任について

第4号議案 加盟団体負担金（加盟団体規程第4条）の改訂について

(3) 2024 年 3 月 31 日

報告事項 2024 年予算及び事業計画について

2. 理事会等

1 2023 年 5 月経営会議

日時 2023 年 5 月 12 日

審議事項

- 1 アジア競技大会、ユニバーシティゲームズ日本代表選手の選考について
- 2 東アジアユース、世界カデット、アジアジュニア選手権大会代表選考基準、選考会要項
- 3 全日本ジュニア要項
- 4 会員規程等の改訂について
- 5 専門委員会委員の選任について（強化委員会・競技委員会）
- 6 強化指定選手の写真使用について

2 2023 年 6 月理事会

日時 2023 年 6 月 9 日

審議事項

- 1 2022 年度決算の承認について
- 2 2023 年度補正予算について
- 3 規定の改正について
 - ① 加盟団体規程の改正について
 - ② 役員・正会員候補者推薦委員会規程及び役員等の構成、年齢、再任の制限等に関する規程
- 4 次期正会員の推薦について
- 5 次期役員の推薦について
- 6 正会員総会の招集について

3 2023 年 7 月経営会議

日時 2023 年 7 月 19 日

審議事項

- 1 経営会議構成員の承認
- 2 道着規程の改訂
- 3 日本代表選手の選考
 - 第 2 回東アジアユース（8/19～20、ウランバートル）、アジアジュニアテコンドー選手権（9/2～9/4、ベイルート）、世界カデット選手権（8/28～31、サラエボ）の日本代表選手の承認
 - アジアパラ競技大会の日本代表選手の承認
- 4 強化指定選手の追加選考

- 5 後援の承認
- 6 学生・社会人・マスターズ選手権の開催について

- 4 2023 年 9 月経営会議
 - 日時 2023 年 9 月 5 日
 - 審議事項
 - 1 全日本プムセの開催について
 - 2 競技委員会委員の選任について
 - 3 強化本部委員の選任について
 - 4 SNS による指摘に対する対応

- 5 2023 年 9 月理事会
 - 日時 2023 年 9 月 26 日
 - 審議事項
 - 1 経営会議審議事項の追認
 - 2 2024 年プムセ強化指定選手選考基準、世界選手権等日本代表選考基準について
 - 3 2024 パリオリンピック大陸別予選日本代表選考会要項について

- 6 2023 年 10 月経営会議
 - 日時 2023 年 10 月 17 日
 - 審議事項
 - 1 全日本選手権の要項について
 - 2 ガバナンスコード 2023 自己説明について
 - 3 オリパラ褒賞金について
 - 4 スポンサー契約利益相反取引について
 - 5 読売スポーツ賞（オリ・パラ）について

- 7 2023 年 11 月経営会議
 - 日時 2023 年 11 月 21 日
 - 審議事項
 - 1 強化委員長代行の選任について
 - 2 GMS 登録規程の改正
 - 3 大会後援について
 - 4 旅費規程の例外承認
 - 5 少年少女選抜選手権大会の開催について

- 8 2023 年 12 月理事会
 - 日時 2023 年 12 月 19 日

審議事項

- 1 9月、10月の経営会議審議事項の追認について
- 2 2024年度ジュニアカデット強化指定選手選考基準について
- 3 愛媛県協会の準加盟について
- 4 大会後援について
- 5 AJTA ビジョン案について

9 2024年1月理事会

日時 2024年1月13日

審議事項

- 1 9月、10月の経営会議審議事項の追認について
- 2 2024年度ジュニアカデット強化指定選手選考基準について
- 3 愛媛県協会の準加盟について
- 4 大会後援について
- 5 AJTA ビジョン案について

10 2024年2月経営会議

日時 2024年2月26日

審議事項

- 1 2024年度強化指定選手の選考について
 - ・ジュニアカデット
 - ・プムセ
 - ・パラ
- 2 2024年度JPC専任コーチの承認
- 3 3月臨時正会員総会の開催について
- 4 専門委員会の改編について

11 2024年3月理事会

日時 2024年3月21日

審議事項

- 1 2024年1月、2月の経営会議承認事項について
- 2 2024年度強化指定選手の選考について
 - ・ジュニアカデット強化指定選手
 - ・プムセ強化指定選手
 - ・パラ強化指定選手、次世代育成選手
- 3 専門委員会の委員の選任について
- 4 2024年度事業計画及び予算について
- 5 2024年度西日本・東日本地区予選 要項について

Ⅲ 実施した事業

【2023 年度振り返り】

2023 年度は、専門委員会委員長会議を定期的実施し、そこでの討議を踏まえ、当協会のミッションを会員投票により決することができた。

また、完全に「コロナ明け」という状況で、財政・マンパワー不足の中でも、2022 年度同様、次のような活動が精力的に行われた。

- ・多数の海外遠征を含む積極的な強化活動【オリパラ強化】、パラ選手の育成発掘【強化】
世界選手権 3 位
ATU プムセセミナーの実施と、アジア競技大会におけるプムセ種目の銀メダル獲得
世界ランキング 3 位と 5 位によるパラリンピック出場権獲得
残念ながら、パリ 2024 オリンピックの出場権は獲得できなかった。
- ・全競技会の開催、表彰式の復活【競技】【医科学】
- ・競技会の全映像配信、全日本選手権の実況解説付き配信【その他】
- ・昇段審査、基本動作セミナー【昇段審査】
- ・国際・国内審判員の派遣、審判講習会等【審判】
- ・目黒区主催の体験会開催【普及】、チラシの配布【事務局】
- ・戦略に基づく積極的なマーケティング活動、ジュニア大会における T シャツ製作・販売【マーケティング】
- ・コーチセミナー【専門委員会横断的な実施】
- ・選手へのインテグリティ教育【インテグリティ・オフィサー】
- ・コンプライアンス窓口の継続【コンプライアンス委員会】
- ・複数の代表選考会【強化・競技】
- ・大会規律委員会の実施

また、2023 年度からは、当協会のガバナンス確保のため、2022 年度に決定した道場等登録制度の創設、指導者登録の義務化を実施し、具体的な運用が始まったが、会員も協力的であり、基本的には安定した運用ができた。

【専門委員会委員長会議】

1. 2023 年 4 月 5 日 20 時～
2. 同 5 月 10 日 20 時～
3. 同 7 月 12 日 20 時～
4. 同 8 月 23 日 20 時～
5. 同 10 月 4 日 20 時～
6. 同 11 月 6 日 20 時～
7. 同 11 月 27 日 20 時～
8. 2024 年 1 月 15 日 20 時～
9. 同 2 月 26 日 20 時～

1. 強化事業（強化本部・強化委員会）

（1）会議の実施

強化委員会

第1回目 日時：2023年4月8日

第2回目 日時：2023年4月27日

1. 2023年の強化委員について
2. FISU ワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都）日本選手団大会派遣に関する所属先コーチ帯同ルールについて
3. EAYG（東アジアユースゲームズ）の審判1名派遣について
4. 事務作業の偏りについて
5. オーストリアオープンについて
6. 強化指定選手の追加について
7. JSC アスリート助成について
8. 金井前強化委員長から前年度の総括

第3回目 日時：2023年5月9日

1. 代表選考会（世界カデット、東アジアユース、アジアジュニア）の派遣階級等承認について
2. 月1の専門委員会会議に強化委員会から2名出席依頼
3. 2024パリ五輪大陸別予選日本代表選考会について
4. パリ五輪、ATOホテルの予約について
5. コーチ（指導者向けの）インテグリティ研修（講師 山本衛常務理事）について

第4回目 日時：2023年5月13日、14日

1. 各部門（パラ、キョルギ、プムセ）から年間事業計画、予算修正後の説明、報告
2. 海外オープン大会派遣（全額自費）の検討の件
3. 2024パリ五輪大陸別予選日本代表選考会実施時期について
4. S&Cを今後どのように強化に活用するか
5. 次世代（カデット、ジュニア）のS&Cの必要性和重要性について
6. S&Cブロック講習会について

第5回目 日時：2023年5月21日

1. オーストラリアオープン派遣について

第6回目 日時：2023年6月7日

1. 2023年世界テコンドー選手権（アゼルバイジャン・バクー）報告
2. 大会等の強化本部との情報共有について
3. パラリンピック代表選考方法について
4. 強化「一本化」への懸念事項について

第7回目 日時：2023年6月14日

1. 2023年世界選手権報告書について
2. パリ五輪日本代表選考会（選考基準、選考方法、選考階級）について

3. S&C 個別指導（池田コーチから報告）

第 8 回目 日時：2023 年 6 月 23 日

1. パリ五輪日本代表選考階級、基準について
2. 7 月（S&C）関東ブロック合宿について
3. オセアニア（オーストラリアオープン）大会参加報告
4. オリ専任コーチの活動報告書（4 月～6 月）の提出先について
5. アジア競技大会（メディア向け）選手広報記事について

第 9 回目 日時：2023 年 6 月 24 日

1. 2023 バクー世界選手権への取り組み報告
2. 世界選手権事前合宿の総評
3. 練習中の水分補給の制限について
4. 映像分析について
5. 現場（指導）責任者の件

第 10 回目 日時：2023 年 7 月 10 日

1. EAYG 大会直前合宿、世界カデット直前合宿、次世代国内強化合宿について
2. EAYG ユニホーム費用 NF 負担について

第 11 回目 日時：2023 年 7 月 19 日

1. アジア競技大会の帯同コーチ変更について
2. 7 月 17 日実施の関東ブロック S&C 講習会について
3. 合宿報告書等の提出方法について
4. 世界パラプムセ大会へ個人参加伺いについて
5. パリグランプリの件について
6. 世界ビーチプムセ選手権大会参加のお伺いについて
7. 金載祐強化委員の不在の間の対応について
8. JOC との連絡について
9. 強化アドバイザー就任報告
10. パラ部門からの報告

第 12 回目 日時：2023 年 7 月 28 日

1. アジアパラオープン大会派遣について
2. パラ合宿の報告等
3. スポンサー道着について

第 13 回目 日時：2023 年 8 月 4 日

1. ユニバーシアード大会結果報告
2. 専任コーチの 8 月以降の処遇について
3. 水分補給について
4. 合宿中の行動について
5. OneTap スポーツ、ジュニアへの活用について
6. パラ部門から報告等
7. アジアジュニア直前合宿等の承認について

第 14 回目 日時：2023 年 8 月 17 日

1. SDH 様からの支給ユニホームについて
2. パリグランプリ派遣決定通知の件について
3. JPC 競技力向上事業補助金の第二次交付内定の件について
4. パリ五輪最終選考会の会場の件について

第 15 回目 日時：2023 年 8 月 29 日

1. パラ部門、第 2 次補助金について
2. パラパリグランプリ派遣について
3. 水分補給コントロールに関する指導について
4. パリ五輪アジア大陸別予選日本代表選考会の大会要項の件
5. 領収書等の扱いについて

第 16 回目 日時：2023 年 9 月 11 日

1. 強化本部委員に阪口朗氏を選任について
2. アジアジュニア選手権の結果等報告
3. パラ部会から報告事項
4. 水分補給についての指示書について
5. 韓国国体について
6. 次世代強化の今後について
7. デフリンピックについて
8. パリ五輪最終選考会要項等について
9. 合宿、遠征等のフィードバックについて

第 17 回目 日時：2023 年 9 月 21 日

1. 世界プムセ派遣選考基準、国際公式大会派遣選考基準について
2. パリ五輪大陸別予選日本代表選考会試合要項について
3. ろうあ連盟からの依頼等
4. パラ部門からの報告
5. AJTA のフェイスブック上での選手コメント等の動画について
6. 専任コーチの退任について

第 18 回目 日時：2023 年 10 月 2 日

1. アジア競技大会の報告
2. ムジュオープンプムセチャレンジについて
3. パラ部門次世代育成選手国内合宿について
4. パラ部門中国グランプリについて
5. 強化本部に 3 点のお伺い

第 19 回目 日時：2023 年 10 月 12 日、19 日

1. 2024 年シニア強化指定選手選考基準について
2. シニア国内強化合宿②について

第 20 回目 日時：2023 年 10 月 31 日

1. 水分補給指示書について
2. 強化合宿、JOC 関連報告書について

3. パラ部門報告
4. シニア国内合宿②について

第 21 回目 日時：2023 年 11 月 24 日

1. 阪口強化委員長代行の就任報告
2. パリ五輪大陸別予選の対策について
3. 次年度の次世代強化指定選手選定について
4. トレーナー派遣について

第 22 回目 日時：2023 年 12 月 14 日

1. 年間事業計画（プムセ）変更の件について
2. 阪口強化委員長代行の紹介
3. 過不足分調査について
4. 大陸予選前の代表選手の合宿、遠征計画、報告
5. パラ部門から報告（作田 HPD から）

第 23 回目 日時：2024 年 1 月 4 日

1. パラ次世代育成合宿について
2. パリ五輪大陸別予選日本代表選考会（奈良県）について確認等
3. 1 月の次世代合宿、2 月のシニア国内合宿について
4. パリ五輪チーム遠征の代替スケジュール案
5. 専任コーチの為の教育セミナー受講について

（2）強化活動

シニア・ジュニアのキョルギ・プムセの活動は、JOC 令和 5 年度選手強化 NF 事業補助金を受けて、パラの活動は、JPC 令和 5 年度競技力向上事業補助金を受けて実施した。

1）オリキョルギ（シニア）

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2023 年 04 月 15 日～04 月 16 日	Chendu 2023 Summer World University Games 選考合宿	23	21	44
2023 年 05 月 10 日～05 月 24 日	2023 シニア国内強化合宿①兼 Baku World Taekwondo Championships 事前合宿	10	17	27
2023 年 09 月 17 日～09 月 21 日	Hangzhou 2022 Asian Games 事前合宿	3	5	8
2023 年 10 月 24 日～10 月 27 日	2023 シニア国内強化合宿②	4	6	10
2024 年 02 月 19 日～02 月 24 日	2023 シニア国内強化合宿③	6	7	13
2024 年 01 月 06 日～01 月 07 日	2024 パリオリンピック最終選考合宿	46	45	91
2024 年 02 月 16 日～02 月 19 日	大陸別予選調整合宿	3	4	7
2024 年 02 月 19 日～03 月 09 日	2023 韓国合宿	4	6	10

2）キョルギ・ジュニアカデット

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2023 年 8 月 7 日～8 月 15 日	第 2 回東アジアユースゲームズ直前合宿	3	6	9
2023 年 8 月 20 日～8 月 25 日	2023 国内強化合宿①兼世界カデット選手権大会直前合宿	5	16	21
2023 年 8 月 24 日～8 月 29 日	アジアジュニア選手権代表直前合宿	4	7	11
2024 年 1 月 12 日～1 月 16 日	2023 国内強化合宿②	4	13	17

2024 年 3 月 25 日～3 月 29 日	2023 国内強化合宿③	6	24	30
--------------------------	--------------	---	----	----

3) プムセ

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2023 年 4 月 6 日 (木) ～4 月 9 日 (日)	2023 プムセ国内強化合宿①	5	12	17
2023 年 6 月 15 日 (木) ～6 月 19 日 (月)	2023 プムセ国内強化合宿②	5	18	23
2023 年 7 月 18 日 (火) ～7 月 21 日 (金)	日本代表選手コーチング① (コーチ力強化事業 1 名招聘)	1	2	3
2023 年 9 月 15 日 (金) ～9 月 19 日 (火)	日本代表選手コーチング② (コーチ力強化事業 1 名招聘)	1	2	3
2024 年 1 月 19 日 (金) ～1 月 22 日 (月)	2023 プムセ国内強化合宿③/ 韓国コーチトレーニング (コーチ力強化事業 3 名招聘)	5	20	25

4) パラキョルギ

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2023 年 4 月 29 日～4 月 30 日(1 泊 2 日)	第 1 回強化合宿	6	6	12
2023 年 5 月 1 日～5 月 18 日	第 1 回個別強化合宿	12	7	19
2023 年 5 月 19 日～5 月 21 日(2 泊 3 日)	第 2 回強化合宿	10	7	17
2024 年 2 月 11 日～2 月 12 日(1 泊 2 日)	パリパラリンピック大陸予選選考合宿	3	2	5

5) パラ次世代

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2023 年 5 月 6 日～5 月 12 日(6 泊 7 日)	第 1 回次世代育成合宿	1	2	3
2023 年 6 月 26 日～6 月 29 日(3 泊 4 日)	第 2 回次世代育成合宿	1	2	3
2023 年 7 月 17 日～7 月 23 日(6 泊 7 日)	第 3 回次世代育成合宿	1	2	3
2023 年 8 月 30 日～9 月 5 日(6 泊 7 日)	第 4 回次世代育成合宿	3	2	5
2023 年 10 月 4 日～10 月 10 日(6 泊 7 日)	第 5 回次世代育成合宿	1	2	3
2023 年 10 月 15 日～10 月 21 日(6 泊 7 日)	第 6 回次世代育成合宿	1	2	3
2023 年 11 月 1 日～11 月 5 日(4 泊 5 日)	第 7 回次世代育成合宿	3	2	5
2023 年 11 月 27 日～12 月 1 日(4 泊 5 日)	第 8 回次世代育成合宿	1	2	3
2024 年 1 月 15 日～1 月 21 日(6 泊 7 日)	第 9 回次世代育成合宿	3	2	5
2024 年 2 月 16 日～2 月 22 日(6 泊 7 日)	第 10 回次世代育成合宿	3	2	5

6) コーチ力強化

①コーチ派遣

NF 強化委員として国際大会に帯同し、プムセの強豪国、選手のレベル及び日本選手との差や違いを確認する他、各国監督、コーチから有意義な情報（評点のポイント・主流や練習方法、選手情報等）を得ることを目的とする。

ワールドユニバーシティゲームズコーチ派遣(2023 年 7 月 25 日～8 月 5 日) 2 名
第 19 回アジア競技大会コーチ派遣(2023 年 9 月 22 日～9 月 29 日) 2 名
2024 パリ大陸別予選(アジア大陸)コーチ派遣(2024 年 3 月 12 日～3 月 17 日) 2 名

②国際審判員セミナー派遣

Asia Taekwondo Union の審判委員長からの要請により 2023 アジア競技大会の審判員参加が決まっている 2 名が参加した。

2024 パリオリンピック審判参加へ向けての第一関門である Top60 名(アジアからは男女各 8 名)に選出されること。また、キョルギのリフレッシュコースを兼ねることから、パリオリンピックへ向けたキョルギルールの動向、また海外審判とのネットワーキングによる最新の情報収集。IF からの招待によるセミナー参加となった。

③WT コーチライセンス取得セミナー派遣

国際大会でコーチにつくには WT コーチライセンス所持が必須であるため、ライセンス未取得の専任コーチを派遣した。

(3) 国際大会派遣

1) キョルギ

①実施した事業：Wuxi 2023 World Taekwondo Grand Slam 派遣

期間：2023 年 04 月 01 日～04 月 02 日

スタッフ数：3 人

参加者数：3 人

実施内容：大会派遣

②実施した事業：Baku 2023 World Taekwondo Championships 派遣

期間：2023 年 05 月 25 日～06 月 06 日

スタッフ数：3 人

参加者数：9 人

実施内容：大会派遣 岡本留佳-46kg 級 3 位

③実施した事業：B FISU ワールドユニバーシティゲームズ (2021/成都) 派遣

期間：2023 年 7 月 25 日～8 月 5 日

スタッフ数：3 人

参加者数：6 人

実施内容：大会派遣 -54kg 級 北出達也 5 位

④実施した事業：第 19 回 杭州 アジア競技大会 派遣

期間：2023 年 9 月 23 日(土)～10 月 8 日(日)

スタッフ数：3 人

参加者数：5 人

実施内容：大会派遣

⑤実施した事業：Taiyuan 2023 World Taekwondo Grand-Prix 派遣

期間：2023 年 10 月 11 日～10 月 19 日

スタッフ数：2人
参加者数：1人
実施内容：大会派遣

⑥実施した事業：2024 パリ大陸別予選（アジア大陸）

期間：2024年03月12日～03月17日

スタッフ数：4人

参加者数：4人

実施内容：大会派遣

岡本留佳-49kg級3位, 加藤柚帆-57kg級5位, 岩城海翔-68kg級5位

2) プムセ

① 実施した事業：オーストラリア遠征派遣 ※3大会出場

期間：2023年7月4日(火)～7月10日(月)

スタッフ数：1人

参加者数：3人

実施内容：大会派遣

■G2 Oceania Poomsae Open

◎規定プムセ U30 男子 鈴木 飛安 3位

◎規定プムセ U30 女子 丹羽 結子 3位

◎フリースタイル Over17 男子 柳 優海 1位

◎フリースタイル Over17 女子 丹羽 結子 1位

■G2 Presidents Cup - Poomsae

◎規定プムセ U30 男子 鈴木 飛安 3位

◎規定プムセ U30 女子(21名出場) 丹羽 結子 3位

◎フリースタイル Over17 男子(1名出場) 柳 優海 1位

◎フリースタイル Over17 女子(2名出場) 丹羽 結子 1位

■G2 Australian Open - Poomsae

◎フリースタイル Over17 男子(2名出場) 柳 優海 2位

◎フリースタイル Over17 女子(3名出場) 丹羽 結子 2位

② 実施した事業：成都ワールドユニバーシティゲームズ2021派遣

期間：2023年7月25日(火)～8月5日(土)

スタッフ数：1人

参加者数：1人

実施内容：大会派遣

◎規定&フリースタイルプムセ 丹羽 結子

③ 実施した事業：WT 世界テコンドービーチ大会派遣

期間：2023年8月15日(水)～8月21日(月)

スタッフ数：1人

参加者数：2人

実施内容：大会派遣

◎規定ブムセ U17 女子 信濃 明梨 3位

◎フリースタイル Over17 男子 柳 優海 5位

◎Spinning Kick Breaking 柳 優海 1位

◎Free Style Breaking 柳 優海 1位

④ 実施した事業：2023 アジアジュニア・カデットテコンドーブムセ選手権大会派遣

期間：2023年8月30日（水）～9月11日（月）

スタッフ数：2人

参加者数：3人

実施内容：大会派遣

◎規定ブムセジュニア女子 信濃 明梨 7位

◎規定ブムセカデット女子 佐藤 妃那子 3位

◎規定ブムセカデット男子 汐崎 然 5位

◎規定ブムセカデットペア 佐藤・汐崎ペア 3位

⑤ 実施した事業：第19回 杭州 アジア競技大会（ブムセ）派遣

期間：2023年9月23日（土）～10月8日（日）

スタッフ数：1人

参加者数：1人

実施内容：大会派遣

◎規定・フリースタイルブムセ 丹羽 結子 2位

⑥ 実施した事業：Muju Taekwondowon 2023 WT Poomsae Open Challenge 派遣

期間：2023年11月1日（金）～11月6日（水）

スタッフ数：1人

参加者数：3人

実施内容：大会派遣

◎規定ブムセカデット男子 汐崎 然 5位

◎フリースタイル Over 17 男子 柳 優海 3位

◎規定ブムセ Under 30 女子 丹羽 結子 3位

◎フリースタイル Over 17 女子 丹羽 結子 2位

3) パラ

① 実施した事業：オーストラリア遠征 ※2大会出場

期間：2023年7月4日～7月10日（6泊7日）

スタッフ数：2人

参加者数：3人

実施内容：大会派遣

■2023 Oceania Para Taekwondo Open Championships

【男子】-63kg 級 5 位福富伸彦、-80kg 級 5 位吉富稔夫

【女子】-52 kg級 3 位大津恵美子

■2023Australia Open Para Taekwondo

【男子】-63kg 級 3 位福富伸彦、-80 kg級 5 位吉富稔夫

【女子】-52 kg級 3 位大津恵美子

② 実施した事業：Paris 2023 World Para Taekwondo Grand Prix 派遣

期間：2023 年 8 月 27 日～9 月 1 日 (5 泊 6 日)

スタッフ数：3 人

参加者数：4 人

実施内容：大会派遣

◎-58 kg級 5 位田中光哉、-58 kg級 5 位阿渡健太、-70 kg級 3 位工藤俊介 3 位

③ 実施した事業：メキシコ遠征 ※2 大会出場

期間：2023 年 9 月 15 日～9 月 27 日 (12 泊 13 日)

スタッフ数：3 人

参加者数：5 人

実施内容：大会派遣

■Veracruz 2023 World Para Taekwondo Grand Prix

-58 kg級 5 位田中光哉、-70 kg級 2 位工藤俊介、+80 kg級 5 位伊藤力

■10th World Para Taekwondo Championships

-58 kg級 5 位田中光哉、-70 kg級 5 位工藤俊介、+80 kg級 5 位伊藤力

④ 実施した事業：Taiyuan 2023 World Para Taekwondo Grand Prix 派遣

期間：2023 年 10 月 6 日～10 月 10 日 (4 泊 5 日)

スタッフ数：3 人

参加者数：4 人

実施内容：大会派遣

-58 kg級 3 位田中光哉、-58 kg級 5 位阿渡健太

-70 kg級 2 位工藤俊介、+80 kg級 3 位伊藤力

⑤ 実施した事業：杭州 2022 アジアパラ競技大会派遣

期間：2023 年 10 月 19 日～10 月 26 日 (7 泊 8 日)

スタッフ数：2 人

参加者数：4 人

実施内容：大会派遣

-58 kg級 2 位田中光哉、-58 kg級 5 位阿渡健太

-70 kg級 3 位工藤俊介、+80kg 級 5 位伊藤力

⑥ 実施した事業：Manchester 2023 World Taekwondo Grand Prix Final 派遣

期間：2023年11月27日～12月3日(6泊7日)

スタッフ数：2人

参加者数：3人

実施内容：大会派遣

-58 kg級 5位田中光哉、-70 kg級 5位工藤俊介、+80 kg級 5位伊藤力

⑦ 実施した事業：パリパラリンピック大陸別予選遠征 派遣

期間：2024年3月14日～3月18日(4泊5日)

スタッフ数：3人

参加者数：1人

実施内容：大会派遣

+80 kg級 2位 伊藤力

⑧ 実施した事業：8th Asia Para Taekwondo Open Championship ※次世代

期間：2023年9月6日～9月12日(6泊7日)

スタッフ数：1人

参加者数：2人

実施内容：大会派遣

◎ -58 kg級 5位原田涼平、5位市川青空

(4) J-star 事業 (パラ)

JSC のジャパン・ライジング・スター・プロジェクトにつき、JPC から委託を受けて 2021 年度から参加している。

今年度は、6期生4名については、それぞれミーティングを行った上で、5回の合宿と1回の居住地(所属)訪問を実施した。

また、7期生2名については、第1回中央合宿(7期生)にて検証プログラムを行った。

① 合宿

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2023年6月30日～7月2日	第1回中央合宿(6期生)	4	4	8
2023年7月14日～16日	第2回中央合宿(6期生)	4	4	8
2023年8月25日～27日	第3回中央合宿(6期生)	3	4	7
2023年9月29日～10月1日	第4回中央合宿(6期生)	3	4	7
2023年12月22日～12月24日	第5回中央合宿(6期生)	2	4	6
2023年12月22日～12月24日	第1回中央合宿(7期生)			

② 7居住地(所属)訪問

日程	事業名	スタッフ	選手	合計
2023年10月14日～10月15日	居住地訪問(岩手①)	1	1	1

(5) 総括・その他

キョルギ部門においては、カデット・ジュニア期の育成に力点を置いた。国内、国際大会共に競技成績が向上し、土台作りができてきたと考えている。5月に行われた世界選手権大会においては、ジュニア上がりの選手が8年ぶりの銅メダルを獲得(2015年の濱田真由選手以来)し、

それ以外にも、東アジアユース競技大会で銀メダル1つ、銅メダル3つ、アジアジュニア選手権大会で銅メダル2つ、パリ五輪アジア大陸別予選大会で銅メダル1つを獲得できた。

一方で、強化チームとしての最大の目標であった、パリオリンピックへの出場が叶わなかった。今回の結果を深く受けとめ、2026年のアジア競技大会のメダル獲得と2028年のロスオリンピック入賞に向けて、強化を行っていく所存である。

ブムセ競技においては、限られた予算のなかでの工夫として、近年は韓国から現役の国家代表クラスの選手や世界大会優勝経験のあるコーチを招聘して国内強化合宿を継続的に実施し、正確性の上にスピードとパワーの積み上げ、なおかつ所属先に戻ってからも継続できるメニュー等を選手とコーチ陣とが一丸となって学習してきた。また代表級の選手については個人でも韓国へたびたび渡航しており、杭州アジア競技大会において日本のブムセ競技史上初めてとなる2位・銀メダル獲得となった。強豪イランを準決勝で破り、決勝で韓国と同じステージで競い合えたことは日本ブムセチームとしても大きな経験になった。また、カデット・ジュニア世代においても、アジアジュニア・カデットブムセ選手権においては2大会連続しての3位・銅メダル、またペア部門でも3位・銅メダルを獲得し、世界においてもアジアにおいても日本はブムセの後進国ではないことを示すことができたと考えている。

パラ部門では、パリパラリンピック出場枠(パラリンピックランキング6位以上)の獲得を最大目標とした強化計画を立案、実行したが、男子-58kg級(5位)、同-70kg級(3位)の2階級で出場権を獲得することができた。また、グランプリ大会では決勝進出、複数メダル獲得を達成でき、全体としての成績向上があったと考えている。一方で、世界選手権では5位入賞(3名)が最高成績に終わり、メダル獲得に至らなかった点は反省材料である。

データの少ない対戦相手に対しての対応に課題が残った。

他国は、欠損が少ない選手が増えてきており、選手発掘面での課題が浮き彫りになった。パリパラリンピックでのメダル獲得を次の目標に設定し強化を進めていく。

2. 競技会事業（競技委員会）

（1）会議開催

全17回

（2）活動内容

実施大会した大会は以下の通り。

① 第17回全日本・全日本ジュニア選手権大会 西地区大会

2023年5月20-21日 熊本県・熊本市総合体育館

参加者 シニア51名、ジュニア116名、合計167名

② 第17回全日本・全日本ジュニア選手権大会 東日本地区大会

2023年6月10-11日 山梨県・山梨市総合体育館

参加者 シニア47名、ジュニア77名、合計124名

③ 第16回全日本ジュニア選手権大会

2023年7月29-30日 埼玉県・サイデン化学アリーナ（さいたま市）

参加者 キョルギ354名、ブムセ47名、合計401名

④ 第 17 回全日本学生選手権大会

第 17 回全日本社会人・第 5 回マスターズ選手権大会

2023 年 9 月 9-10 日 山梨県・小瀬スポーツ公園武道館

参加者 学生選手権 キョルギ 76 名、プムセ 10 名 合計 86 名

社会人選手権 キョルギ 40 名、プムセ 2 名 合計 42 名

マスターズ選手権 キョルギ 25 名、プムセ 8 名 合計 33 名 総計 161 名

⑤ 第 17 回全日本プムセ選手権大会、第 3 回全日本プムセ新人大会

2023 年 10 月 28-29 日 東京都・中野区体育館

参加者 規定またはフリースタイルのみ 67 名

新人大会 16 名

パラ 2 名 合計 85 名

⑥ 第 17 回全日本選手権大会

2023 年 12 月 2-3 日 愛知県・愛知県武道館

参加者 キョルギ 117 名、パラ 17 名 合計 134 名

⑦ 第 7 回全国少年少女選抜大会

2024 年 2 月 11-12 日

参加者 キョルギ 96 名、プムセ 19 名 合計 115 名

なお、

・第 17 回全日本選手権、第 7 回全国少年少女選抜選手権大会については J S C スポーツ振興基金助成（スポーツ団体大会開催助成）を受けて実施した。

・第 16 回全日本ジュニア選手権大会については、一般社団法人さいたまスポーツコミッションスポーツイベント開催助成を受けて実施した。

（3）総括

本年度は、コロナ禍の大会としてではなく、感染対策として入場制限や 3 点セット・PCR 検査・抗原検査をなくし大会を運営することができた。

次年度に向けての改善点として、以下の点があげられる。

- ・セコンドの条件については、全日本選手権・選考会については、大会当日 18 歳以上で 2023 年度コーチセミナーを受講した者で且つ有段者の者とする事で決定。その他の大会は現行通りとする。
- ・1 人階級は特別階級試合を組むこととする。特別階級は上下 1 階級の敗者とし、本人の了承のもと実施する。1 人階級が確定した時点で、対象県協会と本人に知らせる。
- ・コーチエントリーミス、選手のエントリーミスが絶えないことについて検討が必要である。
- ・扇風機の購入を検討
- ・トーナメントへの記載は、A コートは A101・B コート B201 へ配信に合わせて変更する。
- ・全日本選手権にて、試合番号カードを選手、コーチに持たせ、スタッフや選手に見えるようにして選手が動いていく運用を施行する。
- ・公式記録スタッフの配置により、結果記録のミスをなくす対応とする
- ・プムセ競技における抽選はキョルギの抽選の 1 時間前とする
- ・主催大会（キョルギ・プムセ・パラ・ジュニア）の表彰について

- ・全日本ジュニアの敢闘賞の扱いについて

3. 審判事業（審判委員会）

（1）事業の実施

- ① 実施した事業：2023 年度 対面審判講習会（キョルギ）（関西 / 奈良）
日時：2023/6/25(日) 9:30 - 16:30
場所：奈良市北部会館
講師・スタッフ数：齋藤 智・1 名
参加者数：16 名
実施内容：キョルギ審判講習会（実技）
- ② 実施した事業：2023 年度 対面審判講習会（キョルギ）（九州 / 福岡）
日時：2023/7/2(日) 9:30 - 16:30
場所：福岡県テコンドー協会 豊前支部
講師・スタッフ数：齋藤 智・1 名
参加者数：12 名
実施内容：キョルギ審判講習会（実技）
- ③ 実施した事業：2023 年度 オンライン審判講習会（キョルギ）（オンライン）
日時：2023/7/16(日) 9:00 - 13:00
講師・スタッフ数：桑原 健、門野 真・2 名
参加者数：29 名
実施内容：キョルギ審判講習会（座学）
- ④ 実施した事業：2023 年度 対面審判講習会（キョルギ）（関東 / 千葉）
日時：2023/7/17(月・祝) 9:30 - 16:30
場所：船橋市武道センター
講師・スタッフ数：齋藤 智・1 名
参加者数：15 名
実施内容：キョルギ審判講習会（実技）
- ⑤ 実施した事業：2023 年度 オンライン審判講習会（キョルギ）（オンライン）
日時：2024/2/25(日) 9:00 - 18:00
講師・スタッフ数：桑原 健、中野 哲史・2 名
参加者数：28 名
実施内容：キョルギ審判講習会（座学）
- ⑥ 実施した事業：2023 年度 オンライン審判講習会（プムセ）（オンライン）
日時：2024/3/24(日) 9:00 - 18:00

講師・スタッフ数：齋藤 智・1名

参加者数：30名

実施内容：プムセ審判講習会（座学）

⑦ 実施した事業：全日本テコンドー協会主催 キョルギ及びプムセ各種競技会及び各種日本代表選考会への審判の派遣（大会審判員、計量、インスペクション、前日審判トレーニング等）

- A) 2023年4月16日：FISU ワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都）キョルギ日本代表最終選考会（大東文化大学）
- B) 2023年5月21日：第17回全日本選手権／第16回全日本ジュニア選手権 西日本地区大会（熊本県 熊本市総合体育館）
- C) 2023年6月11日：第17回全日本選手権／第16回全日本ジュニア選手権 東日本地区大会（山梨市民総合体育館）
- D) 2023年7月29～30日：JOC ジュニアオリンピックカップ 第16回全日本ジュニア選手権大会（埼玉県 サイデン化学アリーナ）
- E) 2023年9月10日：第17回全日本学生選手権（山梨県小瀬スポーツ公園）
- F) 2023年9月10日：第5回全日本マスターズ選手権大会（山梨県小瀬スポーツ公園）
- G) 2023年9月10日：第7回全日本社会人選手権（山梨県小瀬スポーツ公園）
- H) 2023年10月29日：第17回全日本プムセ選手権（東京都キリンレモンスポーツセンター）
- I) 2023年10月29日：第7回全日本パラプムセ選手権（東京都キリンレモンスポーツセンター）
- J) 2023年10月29日：第3回全日本プムセ新人大会（東京都キリンレモンスポーツセンター）
- K) 2023年12月3日：第17回全日本選手権大会（愛知県武道館）
- L) 2024年1月7日：パリ2024オリンピックアジア大陸別予選 日本代表選考会（奈良学園大学）
- M) 2024年2月12日：第8回全国少年少女選抜選手権大会（兵庫県立武道館）

⑧ 実施した事業：各種国際大会への審判派遣（JOC 国際審判員養成プログラム 2/3 助成，1/3 個人負担）

- A) 2023年5～6月：Baku 2023 World Taekwondo Championships / G-14 (Baku, Azerbaijan)
派遣審判員：齋藤 智、友野 寿美
- B) 2023年6月：Roma 2023 World Taekwondo Grand-Prix / G-6 (Roma, Italy)
派遣審判員：友野 寿美
- C) 2023年8～9月：Paris 2023 World Taekwondo Grand-Prix / G-6 (Paris, France)
派遣審判員：齋藤 智
- D) 2023年10月：Taiyuan 2023 World Taekwondo Grand Prix / G-6 (Taiyuan, China)
派遣審判員：友野 寿美
- E) 2023年12月：Manchester 2023 World Taekwondo Grand-Prix Final / G-10 (Manchester, UK)
派遣審判員：齋藤 智、友野 寿美
- F) 2024年2月：African Qualification Tournament for Paris 2024 Olympic Games / N/A (Dakar, Senegal)
派遣審判員：友野 寿美
- G) 2024年3月：European Qualification Tournament for Paris 2024 Olympic Games / N/A (Sofia, Bulgaria)
派遣審判員：齋藤 智

⑨ 実施した事業：各種国際大会への審判派遣（全額個人負担 もしくは OC 負担）

- A) 2023 年 5 月：2023 Southeast Asian Games (SEA Games) / G-1 (Phnom Penh, Cambodia)
派遣審判員：高橋 大輔
- B) 2023 年 7~8 月：Chengdu 2021 Summer World University Games / G-2 (Chengdu, China)
派遣審判員：高橋 大輔
- C) 2023 年 8 月：2023 Chuncheon Korea Open Internatioal Taekwondo Championships / G-2 (Chuncheon, Korea)
派遣審判員：高橋 大輔
- D) 2023 年 8 月：Sarajevo 2023 World Taekwondo Cadet Championships / N/A (Sarajevo, Bosnia and Herzegovina)
派遣審判員：高橋 大輔
- E) 2023 年 8 月：2023 East Asian Youth Games / N/A (Ulaanbaatar, Mongolia)
派遣審判員：中野 哲史
- F) 2023 年 9 月：12th Asian Junior Taekwondo Championships / G-2 (Beirut, Lebanon)
派遣審判員：高橋 大輔
- G) 2023 年 9 月：5th Asian Cadet Taekwondo Championships / N/A (Beirut, Lebanon)
派遣審判員：高橋 大輔
- H) 2023 年 9~10 月：Hangzhou 2022 Asian Games / G-4 (Hangzhou, China)
派遣審判員：齋藤 智，長野 あすか
- I) 2023 年 11 月：WT President's Cup - Asia / G-2 (Amman, Jordan)
派遣審判員：高橋 大輔

⑩ 実施した事業：WT Kyorugi & Poomsae IR Refresher Course 受講

- A) 2024 年 2 月：142nd International Kyorugi Referee Refresher Course (Manchester, UK)
受講者：齋藤 智
- B) 2024 年 2 月：51st International Poomsae Referee Refresher Course (Manchester, UK)
受講者：齋藤 智
*JOC 令和 3 年度選手強化 NF 事業補助金を受けて実施

⑪ 実施した事業：コーチセミナーへの講師派遣（キョルギ競技ルール、計量、インスペクション等について）

(2) 総括

2023 年度は新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行されたこともあり、今までのオンライン審判講習会に加え対面での講習会を九州、関西、関東で実施することができた。対面での講習会により、オンラインでは難しい実技の面を重点的に指導することができた。オープン大会も徐々に再開され今後ますます審判員の活躍の場が広がると思われる。これらの大会や AJTA 主催大会前日に開かれる審判トレーニングを通して更なるレベルアップを期待する。

(3) 課題等

引続き審判員の教育を強化する必要がある。AJTA では年 1 回の審判講習会の受講を必須としているが、これだけでは審判技術の習得、向上には到底足りない為、2024 年度からは大会前日トレーニングへの参加呼びかけを実施する予定。これによりオリンピックや国際大会での豊富な経験のある国際審判員からのレクチャーを受ける機会を増やせると考えている。

報告時点（2024 年 5 月末時点）での審判登録人数は 50 名を切っている状況であり、引き続き、AJTA 認定審判員の増員にむけたアクションが必要である。県大会、オープン大会が増える中、審判資格を更新していない人が審判をしていると思われるため、この点の改善も検討が必要である。

また、昨年度の報告書にも記載したが、大会がライブ放送されることにより、審判員が必要以上に緊張することによりミスも増え、SNS 等でネガティブなコメントを貰うリスクも増えており、新人審判員の大会参加への妨げになっているとも考えられる。この点、地域でのオープン大会や撮影なしの大会環境等が増えることが望ましい。

競技会を実施するためには、新たな審判員の人材確保が必要であるが、そのためには育てる環境と、批判等から審判員が守られる環境も必要である。現時点ではそのような環境があるとは感じられず、このままでは今活躍している審判員も安心して大会に参加できず審判員の減少につながりかねない。協会全体として検討頂きたい内容である。

4. 昇段審査事業（昇段審査委員会）

(1) 会議の実施について

実施回数 : 3 回

第 1 回目

日時 : 2023 年 7 月 6 日 (木) 17:00~18:30

内容 : ①基本動作セミナーについて
②昇級審査および段位登録管理

第 2 回目

日時 : 2023 年 12 月 14 日 (木) 17:00~18:00

内容 : ①2022 年度基本動作セミナー（対面とビデオ視聴）について
②3-4-5 段審査会の実施について

第 3 回目

日時 : 2024 年 1 月 21 日 (日) 11:00~12:00

内容 : 基本動作セミナーの準備

(2) 事業の実施

実施した事業

① 3-4-5 段昇段審査会 (九州ブロック)

日時 : 2023 年 11 月 12 日 (日) 13:00~15:00

場所 : スポーツパーク川副・武道館

合格者 17 名 (3 段 8 名・4 段 8 名・5 段 1 名)

② 基本動作セミナー（対面）

日時：2023年12月17日（日）13:00～15:30

場所：玄武館本部道場

参加者：25名

日時：2024年3月3日（日）10:00～12:00

場所：リンクステコンドーアカデミー本部道場

参加者：36名

③ 3-4-5 段昇段審査会（関東ブロック）

日時：2023年12月17日（日）13:00～15:30

場所：玄武館本部

合格者：34名（3段12名・4段12名・5段10名）

④ 3-4-5 段昇段審査会（関西ブロック）

日時：2024年3月3日（日）13:30～15:00

場所：リンクステコンドーアカデミー本部道場

合格者：23名（3段12名・4段6名・5段5名）

5. 普及事業（普及委員会）

（1）会議の実施

第1回目 日時:5月5日8時

内容:インカレについて

第2回目 日時:5月17日20時

内容:競技委員会と学生新人戦についてミーティング。

第3回目 日時:5月27日20時45分

内容:競技委員会とミーティング結果普及委員で共有。

第4回目 日時6月13日22時

内容:学連とミーティング、新人戦について。

第5回目 日時:12月23日22時

内容:学連とミーティング、新人戦について。

（2）実施した事業

目黒区体験会:3月2日

講師・スタッフ数19名

参加者数40名(小学生)

実施内容:テコンドー体験会、デモンストレーション見学

6. 医科学関係（医科学・アンチドーピング委員会）

＊大会医事運営に関しては、一部、UNIVAS の助成を受けて実施した。

（1）事業の実施

- ①主催大会、選考会のすべてに、医師・トレーナーを派遣した。
- ②強化合宿・海外遠征等に、トレーナー派遣を行った。
- ③パラキョルギについて、全日本選手権時に、国内クラス分けを実施した。

（2）総括

協会主催大会の医事運営および医療スタッフの手配を行った。また強化合宿におけるトレーナー派遣を行なっている。

また、年間を通して傷害発生管理についての取り組みを行い、引き続き解析を行なっていく方針である。

7. アンチ・ドーピング委員会

＊アンチ・ドーピング活動に関しては、JSC「スポーツ振興くじ助成」の助成対象事業として実施した。

（1）事業の実施

- ① 第 17 回全日本選手権大会 JADA ドーピング検査 対応

- ② アンチドーピングセミナー 全 3 回

日時：2023. 5. 10 2023. 6. 18 2024. 1. 12

講師：アンチ・ドーピング教育担当者

実施内容 アンチ・ドーピング教育

- ③ アウトリーチ活動

- ・全日本ジュニア選手権大会

日 時 2023 年 7 月 30 日

対 象 選手・保護者・指導者

来訪者数 約 40 名

- ・全日本学生選手権大会

日 時 2023 年 9 月 10 日

対 象 選手・保護者・指導者

来訪者数 約 4 名

（2）総括

アンチ・ドーピングに関する事業は、おおむね例年通り実施した。教育については、前年度の反省である、WADA や JADA の教材を利用した基本的な教育を中心に実施した。

また、上記には書かなかったが、2023 年 6 月 17 日～18 日、JADA 承認 Educator 研修を受け、同資格を取得した。今後は、この資格に基づいて教育活動を実施していくこととなる。

委員会全体の課題としては、選手の服薬・サプリメント管理という現場との連携が挙げられる。現在、強化の現場と連携をとり、体制構築中である。

8. アスリート委員会

(1) 会議の実施について

実施回数 : 6回

第1回目

日時: 2023年7月15日(土) 20:00～21:00

内容: ①協会派遣大会・強化合宿のアンケートの再実施について
②新提案「前向きアンケート(仮)」

第2回目

日時: 2023年9月2日(土) 20:30～21:30

内容: ①協会派遣大会・強化合宿のアンケートの再実施について
②強化選手対象 事前アンケート(仮)の今後の展開について

第3回目

日時: 2023年10月14日(土) 20:30～21:30

内容: ①今後のアンケート作成の進め方
②Instagram【JAPAN-TAEKWONDO】アカウントの取り扱い

第4回目

日時: 2023年11月25日(土) 21:00～22:00

内容: ①アンケートの最初の説明文について
②アンケートをメールに記載してもらうための今後のフローについて
③Instagram【JAPAN-TAEKWONDO】アカウントの取り扱い

第5回目

日時: 2024年2月22日(木) 19:00～20:00

内容: ①今後のアンケート配布時期・方法について
②パラ強化チームへのアンケートの配布及び締切りについて

第6回目

日時: 2024年3月31日(日) 19:00～20:00

内容: ①今後の共有方法について

(2) 事業の実地

① 実施した事業: 2024年度オリシニアキョルギ強化選手への事前アンケート

日時: 2024年3月5日

回答数 22名

実施内容: 新年度のオリシニア強化選手を対象にアンケートを実施。新年度の強化活動の開始にあたり、選手自身の意思・気持ち・課題・日常のトレーニング等を選手とコーチ間で共有するための前向きなアンケートとして作成。選手の意見や要望をヒアリングして強化委員会に情報を共有。

② 実施した事業：2024 年度パラ強化選手への事前アンケート

日時：2024 年 4 月 6 日（令和 6 年度に持ち越し）

回答数 8 名

実施内容：新年度のパラ強化選手を対象にアンケートを実施。強化活動の開始にあたり、選手自身の意思・気持ち・課題・日常のトレーニング等を選手とコーチ間で共有するための前向きなアンケートとして作成。選手の意見や要望をヒアリングして強化委員会に情報を共有。

（3）総括

本年度は前向きアンケート（事前アンケート）の発案・計画・実施・共有を行い、一つのパッケージとして形作ることができた。今回はシニアのオリパラキョルギ強化選手へのアンケートを行ったが、次年度はプムセの強化選手へのアンケートも実施を計画している。将来的にはジュニア選手への実施も視野に検討している。

（4）課題等

アンケートを周知するにあたり、事務局や他委員会との調整・連絡がスムーズにできなかったこともあり、新年度の最初の合宿までにアンケートが間に合わなかった点は、次回以降のアンケート実施の際に改善すべきである。次年度においては、関係機関との連携を強化していきたい。

9. マーケティング（マーケティング委員会）

（1）活動目的

テコンドーを応援してくれる企業・団体を増やし、協会運営、普及、強化に貢献する

（2）マーケティング委員会会議の実施について

全体の実施回数：5 回

（3）委員会の活動

① 既存スポンサー継続活動

- ・城北信用金庫様：7/3
- ・YK アクロス様：5/30, 11/14

② 新規スポンサー営業

- ・コレック様（7/6）
- ・コネクション様（10/3）
- ・RIGHT STAFF 様（10/6）
- ・ジョー・コーポレーション様（12/15）
- ・Boat Ships. 様（1/21）

③ 韓国関係機関との関係構築

- ・日韓議連（武田事務所）訪問：10/31, 12/11, 3/22

④ 記念 T シャツの発売

- ・全日本ジュニア記念 T シャツ販売：97 枚

⑤ 普及、広報委員会との統合

- ・マーケティング委員会、普及委員会、広報委員会を統合して普及戦略委員会の立ち上げ準備

(4) 総括

新規スポンサーの獲得には至らず、テコンドーに縁のない企業からの支援の困難さを改めて実感した。今後は国内企業のみならず、国内の韓国系企業へのアプローチを強化したい。今年度はその為にも韓国政府機関とのパイプづくりに注力した。結果、日韓議連を通じ、韓国大使館全権大使、韓国文化院院長との面談アポイントをとることができた（面談は 2024 年度の予定）。

次年度は大使館、文化院からの紹介先の団体・企業に積極的にアプローチする。大使館、文化院については大会後援、来賓、祝辞など積極的に関わり関係を深める。

国内企業については営業代行、アポ代行企業を活用し効率の良い営業活動を行うことも検討したい。

また、スポンサー活動と関連の強い広報委員会、普及委員会と統合を図り、スポンサー誘致活動に有益な活動を連携して行う。

10. 広報関係

(1) 体制について

広報委員会はおかず、事務局業務として実施した。

取材申請等への対応、メディア等の対応を行った。

(2) 実施内容及び課題について

① 対外的な広報について

メディアからの問い合わせについては、強化委員長など専門委員会の協力を得て対応したが、より迅速かつ十分な対応が望まれ、そのためには、担当部署の設置が必要である。

② HP の更新について

理事会等の審議事項の公表、競技会開催情報や結果の報告などを行った。

競技自体の紹介ページなど、手つかずのところもあり、外部からも指摘を受けているところであるが、今年度は着手できず、2024 年度こそ全体的な見直しに着手したい。

③ SNS についても、できる限り掲載を行ったが、担当者または部署を置いて過不足なく対応できるようにする必要があると感じている。

11. コンプライアンス関係

- * (1) ～ (4) について、JSC「スポーツ振興くじ助成」の助成対象事業として実施した。

- (1) コンプライアンス相談窓口を運営し、2件の新規相談（相談のみで終了）、調査案件は0件であった。
- (2) コンプライアンス・インテグリティ研修の実施
インテグリティオフィサーが中心となって実施した。
- (3) 処分規程に基づく裁定手続き
裁定委員会に回付された案件はなかった。
- (4) 大会規律規程に基づく手続き
1件が、大会規律委員会に回付され、会議は7回開催された。

12. 都道府県ガバナンス委員会

道場等登録の促しとして、連盟との統合に向けた活動を行った。

新たな登録、都道府県協会としての加盟・準加盟について、個別の相談に応じたり、審査などを行った。

各都道府県協会のスポーツ協会加盟の促進を行った結果、日本スポーツ協会への準加盟申請を行うことができた（審査中であり正式な加盟は2025年度以降となる）。

2024年度は、都道府県ガバナンスに限定せず、全般的な加盟・登録関係業務を行うものとして、新たに総務委員会として活動を行う。

13. 総務関係

- (1) ガバナンスコード適合性審査への対応
2023年10月にホームページに公表を行った。
- (2) JOC加盟団体として、主催大会及び事務局内において、環境啓発・保全活動を行った。

14. 国際委員会

WT、ATU、国技院等との連携を図った。

15. その他

- (1) コーチセミナーを実施し、延べ287名の参加があった。

以上